

製品名 : P3ペイント 水性1液架橋型錆転換剤 ニューサビコンバータ

製品安全データシート SDS

1. 製品及び会社情報

製品名: P3ペイント 水性1液架橋型錆転換剤 ニューサビコンバータ

会社名: 株式会社カナイ

住所: 〒601-8314 京都府京都市南区吉祥院井ノ口町26番3

電話番号: 075-691-5066

FAX番号: 075-681-7696

推奨用途及び使用上の制限: 工業用塗料

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性	
引火性液体	分類対象外
健康に対する有害性	
急性毒性: 経口	分類できない
急性毒性: 経皮	分類できない
急性毒性: 吸入: 気体	区分に該当しない
急性毒性: 吸入: 蒸気	分類できない
急性毒性: 吸入: 粉じん又はミスト	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	区分2
呼吸器感受性 固体/気体	分類できない
気体	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分2
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1, 区分2
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性:	
水生環境有害性物質・急性	分類できない
水生環境有害性物質・慢性	区分に該当しない
オゾン層への有害性:	分類できない

【ラベル要素】

シンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

強い目の刺激
遺伝性疾患のおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響の恐れ
臓器(中枢神経系、全身毒性)の障害の恐れ
長期にわたる、又は反復暴露による臓器(呼吸器系)の障害
長期にわたる、又は反復暴露による臓器(肝臓、脾臓、血液系)の障害の恐れ

注意書き 安全対策	保護手袋, 保護眼鏡, 保護面を着用すること, 粉じん, ガスまたはミストを吸入しないこと。 取り扱い後はよく洗うこと。
応急処置	皮膚又は髪に付着した場合は直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ取り除く。 皮膚を流水, シャワーで洗うこと。 特別な処置が必要である。 直ちに医師に連絡すること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 吸入した場合は空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。 飲み込んだ場合は口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 眼に入った場合は水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に 業務委託すること。

3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名	CAS No.	含有率	官報公示整理番号
イソプロピルアルコール	67-63-0	1~5%	(2)-207

4. 応急措置

吸入した場合	蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	付着物を布で素早く拭き取る。 大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤で十分に洗い落とす。溶剤・シンナーは使用しない。 皮膚刺激が生じた場合、SDSを提示して医師の診断を受ける。 直ちに、全ての汚染された衣類を取り除くこと。
目に入った場合	直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。 出来るだけ速くSDSを提示し医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合安静にし、直ちにMSDSを提示し医師の診断を受ける。 無理に吐かせない。嘔吐物は飲み込ませない。
応急措置をする者の保護	適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。 換気を行う。

5. 火災時の措置

使用可能消火剤	すべての消火剤
使用してはならない消火剤	無
消火方法	適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 指定の消火器もしくは消火設備を使用する。 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。 消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置	作業の際には適切な保護具(手袋・保護マスク・保護メガネ等)を着用する。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
人体に対する注意事項、 保護具および緊急時措置	
環境に対する注意事項 封じ込めおよび浄化の 方法・機材	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。 漏出物は密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。 付着物・廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。 乾燥砂・土・その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の漏出には盛土で囲って 流出を防止する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	換気の良い場所で取り扱い容器はその都度密栓する。 皮膚・粘膜または着衣に触れたり目に入らぬように適切な保護具を着用する。 取扱い後は手・顔をよく洗い休憩所等に汚染した保護具を持ちこまない。 密閉場所での作業は十分な局所排気装置を付け適切な保護具を着用する。 塗料製品、廃塗料などは、大気汚染防止法の優先排出量削減対象物質に該当するので、 塗装等はこの法規に準じて行う。 塗料製品、廃塗料などは、悪臭防止法の悪臭物質に該当するので、塗装等はこの法規に 準じて行う。
保管	凍結・日光の直射を避け屋内で保管すること。 保管時の温度は5で以下あるいは40で以上とならないようにする。 通風の良いところに保管する。
8. 暴露防止及び保護措置	
物質名 イソプロピルアルコール	管理濃度 200ppm 作業環境評価基準(昭和63年9月1日号外、労働省告示第79号)別表
設備対策	本製品に作業者が直接触れたり、暴露したりしないような配慮をすること
保護具	
呼吸器の保護具	作業を行う場合には適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具	有機溶剤または化学製品が浸透しない材質の手袋を着用する。
目の保護具	保護メガネを着用する。
皮膚および身体の保護具	取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を付けること。また化学薬品が浸透しない 材質であることが望ましい。
9. 物理的及び化学的性質	
状態	: 水溶性液体
pH	: 2以上
色	: 淡褐乳灰色
融点	: データなし
沸点	: 約100℃
引火点	: なし
発火点	: なし
密度	: 1.13±0.05(23±2℃比重として)
溶解性	: 水に可溶
その他のデータ	: 特になし
10. 安定性及び反応性	

安定性 条件(温度・光)等 避けるべき条件 混触危険物質 その他の危険性情報	通常の条件では安定である 標準的な条件では反応しない 情報を有していない 情報を有していない 特になし
----------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------

11. 有害性情報

イソプロピルアルコール	経口毒性(ラット):LD50 5280mg/kg 経皮毒性(ウサギ):LD50 4050mg/kg 吸入毒性(ラット):LC50 72600mg/m ³ /4h
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

その他の有害性情報	製品としての安全性試験は行っていない
-----------	--------------------

12. 環境影響情報 環境影響情報

漏洩、廃棄の際、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗淨水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

生態毒性 残留性・分解性 生態蓄積性 土壤中の移動性	情報を有していない 情報を有していない 情報を有していない 情報を有していない
-------------------------------------	--------------------------------------------------

13. 廃棄上の注意 残余廃棄物

塗料・容器等の廃棄物は、許可を受けた産廃物処理業者と契約して処理する。
容器・機器装置等を洗淨した排水等は地面や排水溝へそのまま流さない。
排水処理・焼却等により発生した廃棄物についても『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』及び関係する法規に従って処理するか業者に委託する。
廃塗料等を廃棄する場合、特別管理産業廃棄物(廃油)に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
塗料製品、廃塗料などは、大気汚染防止法の優先排出量削減対象物質に該当するので、廃棄にはこの法規に準じて行う。
空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

汚染容器および包装	許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
-----------	-------------------------------

14. 輸送上の注意 共通

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積み込み、崩れ防止を確実に行うこと。

国内規制 陸上輸送	
--------------	--

消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合、それぞれの該当法律に定められた運送方法に従う。

海上輸送 航空輸送	
--------------	--

船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空法に定めるところに従うこと。

国際規制

国連番号
物質名
応急措置指針番号
国連分類
容器等級

該当なし
塗料
該当なし
該当なし
該当なし

15. 主な適用法令

消防法:該当せず
労働安全衛生法施行令:該当せず
労働安全衛生法:第57条(表示すべき有害物)
労働安全衛生法:第57条-2
大気汚染防止法
悪臭防止法

16. その他の情報

注 意

このSDSは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。
当該製品の危険・有害性に関する情報および評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。